

FRESH LIGHT

フレッシュライト
ミルクヘアカラー

<使用説明書>

ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

使用方法、その他についてご質問がありましたら、
お客様相談室まで、お問い合わせください。

お客様相談室
TEL 0570-032525

※受付:土・日・祝日を除く
10:00~12:00/13:00~17:00

<http://www.freshlight.jp/>

1箱全量で
セミロング約1回分です。

シュワルツコフ ヘンケル株式会社
東京都品川区東品川2-2-8

AB.H

使用上のご注意

1. 次の方は使用しないでください。

- ① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- ② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- ③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

2. 使用前のご注意

- ① 染毛の2日前(48時間前)には右記の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト液塗布後30分および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合がありますので、毎回必ず行ってください。
- ② 頭皮以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。
- ③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るとおそれがあります。
- ④ 顔より直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。
- ⑤ 染毛の前後1週間はパーマントウエーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。

3. 使用時のご注意

- ① 薬剤は使用直前に混合し、直ちに使用してください。
- ② 換気の良いところで使用してください。
- ③ 必ず添付の手袋を着用してください。
- ④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ⑤ 薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついたときは、直ちに水で洗い落としてください。
- ⑥ 薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
- ⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

4. 取り扱い上のご注意

- ① 混合した薬剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流してすててください。
- ② 混合した薬剤は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあり危険です。

5. 保管上のご注意

- ① 幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ② 高温や直射日光をさけて保管してください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

染毛の2日前(48時間前)には、毎回必ず行ってください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は、アレルギーの有無をチェックするための簡単なテストです。ある食品、化粧品、医薬品などでアレルギー反応をおこす人がいるように、ヘアカラーでアレルギー反応をおこす人がまれにいます。ヘアカラーのアレルギー反応は、初回の染毛時のテストで異常が認められなくても、何回目かに初めて異常が認められる場合もあります。染毛のたびに毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

次のものを準備します。

箱の中に用意されているもの



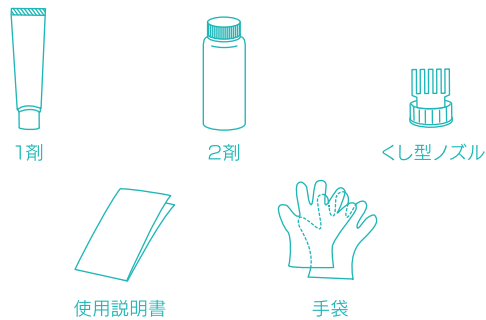
ご自分で用意していただくもの



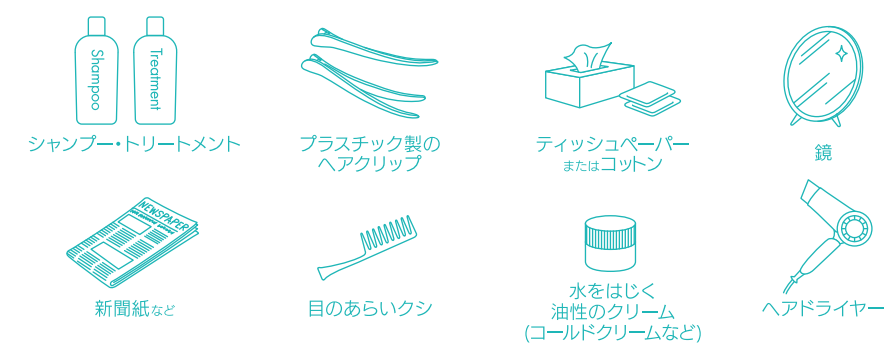
テスト液は1剤と2剤を1:2の割合で混ぜてつくります。

- ① 1剤チューブのキャップをはずし、キャップ頭部の突起で、チューブの口に穴をあけます。ごく少量を小皿に出します。
- ② 2剤のキャップをはずし、綿棒を使って小皿の上に1剤の2倍量の2剤をとり出します。
- ③ 新しい綿棒で充分に混合し、テスト液をつくります。
- ④ テスト液ができたら、腕の内側に10円硬貨大にうすく塗り自然乾燥させます。
 - ・テスト液が乾燥するまで、衣服につかないようご注意ください。30分くらい放置しても乾かない場合はテスト液のつけすぎですから、余分なテスト液を、ティッシュペーパーなどで軽くふきとってください。
 - ・テストをした当日は、なるべく入浴しないでください。やむをえず入浴する場合は、テスト部位をぬらさないでください。
- ⑤ そのまま触れずに48時間放置します(時間を必ず守ってください)。
- ⑥ テスト部位の観察はテスト液塗布後30分くらいと48時間後の2回は必ず行ってください。
 - ・そのとき、塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激などの皮膚の異常があった場合には、手などでこすらないで、すぐに洗い落とし染毛はしないでください。
 - ・途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止しテスト液を洗い落とし、染毛はしないでください。
 - ・かぶれた部位などは手などでこすらず、すぐに皮膚科専門医の診療を受けてください。
- ⑦ 48時間たって異常がなければ、すぐに染毛してください。
※日をおくと体質が変わることがあります。皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は毎回必ず染める前に行ってください。

箱の中に入っているもの



ご自分で用意していただくもの



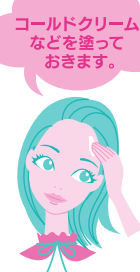
使用前のご準備

髪の状態

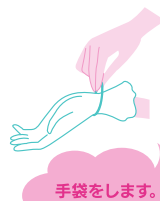
- 前洗いの必要はありません。ただし髪の汚れのひどいとき、カラーブレイなどの一時染毛料や多量の整髪料などをご使用のときは、前日に洗髪しておいてください。
- 非酸化染毛剤(マロンマインドカラーなど)で染めた髪には使用しないでください。

身じたく

- ※ 薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁などに付着すると落ちませんので、充分注意してください。
- 汚れてもかまわない前あきの服装に着替え、首にケープかタオルをかけます。
- 床などが汚れないように新聞紙などを重ねて敷きます。
- はえぎわや耳や首に混合液がついて着色するのを防ぐために、コールドクリームなどを塗っておきます。ただし、コールドクリームが髪につくと、染まりにくくなりますのでご注意ください。



- 爪も髪と同じように染まりますから、添付の手袋をはめてお使いください。このとき手首を輪ゴムでとめておくと操作しやすくなります。
- メガネ、イヤリング、ピアス、ネックレス、指輪は、はずしてください。
- 寒いときは、なるべく暖かい部屋で染めてください。



準備が
できたら
裏面へ

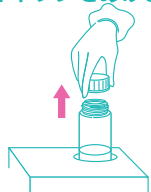
ご使用前には必ず表面もお読みください

- 目のあらいクシで髪をよくとかしてほつれをのぞき、クシ通りをよくしておきます。
- 乾いた髪にご使用ください。

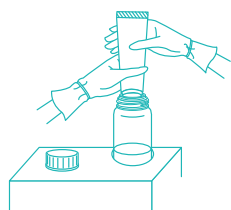
1 混合液をつくります

必ず使用の直前に混合液をつくります。

1 箱の裏側のミシン目によって、2剤容器を固定し、平キャップをあげます。



2 2剤に1剤を全量入れます。



1剤チューブは皮膚アレルギー試験(パッチテスト)のときにあけてあります。

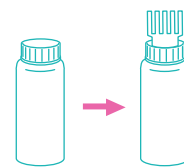
3 平キャップをしっかりとしめ、上下に30回ほど強く振り、充分混合します。



くし型ノズルをつけて振らないでください。振ったときに液が飛び散ります。



4 すぐに平キャップをはずし、くし型ノズルにつけかえます。



※混合液の色は徐々に変わります。また、仕上がりの髪色とは異なります。

注意

※混合液を密栓したまま放置しないでください。ガスが発生し容器が破裂するおそれがあります。
※混合液ができましたらすぐに髪に塗りはじめてください。そのまま放置しておくと、ガスが発生し容器からあふれ出るおそれがあります。

2 混合液を乾いた髪に塗ります

※混合液が目に入らないように特に注意してください。また、混合液があまり地肌につかないようにしてください。
※混合液が頭皮以外の顔、耳、はえぎわなどの肌についたときは、すぐに水で湿らせたティッシュペーパーまたはコットンでふきとってください。時間がたつほど、とれにくくなります。

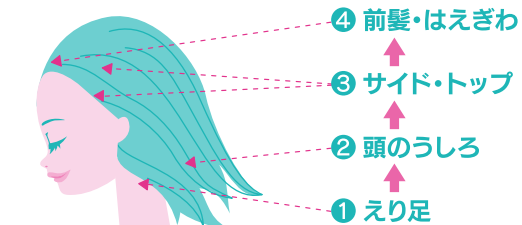
A 初めての方・髪全体をヘアカラーをする場合

毛先の塗布時間…約10分

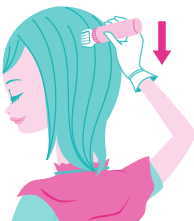
1 染まりにくいえり足から順に塗布してください。混合液を、髪の根元から2~3cm離れた部分から毛先へ塗ります。

※非常に明るい部分は、染まりすぎることがありますので最後に塗ってください。

塗布順序の目安



手の届きにくい所は、塗り残しやすいので、混合液はたっぷり塗ってよく指でなじませてください。



根元の塗布時間…約5分

2 髪の根元に混合液を塗ります。頭の後ろの染まりにくいところから塗り始めてください。



POINT

毛先を塗るときは、ノズルに手を添えて混合液を出し、もみ込みながら塗ります。



髪全体に混合液を塗った後は、ムラにならないように手でやさしくもみ込んでから、最後に目のあらいクシで混合液をのばします。



※目の細かいクシは、髪についた混合液をとってしまうので、使わないでください。



放置時間…約20分(標準)

3 時々、ティッシュペーパーなどでふきとり、髪をチェックしながら放置します。



約20分



注意

※30分以上の放置は髪を傷めますのでおやめください。
※地肌に刺激のある場合は、すぐに洗い流してください。

※仕上がりの髪色はヘアカラー前の髪色、色ムラ、髪質、髪の傷み具合、室温、放置時間により多少異なります。
※室温(標準20~25℃)の低いときは、多少放置時間を長くしてください。

B 新しくのびた部分のヘアカラーをする場合

※新しくのびた部分かなり長い方は、上記の「初めての方・髪全体をヘアカラーする場合」の使用手順に基づいてください。

根元の塗布時間
約5分

1 新しくのびた部分だけ塗ります。



放置時間
約15分

2 時々、ティッシュペーパーなどでふきとり、根元の髪色をチェックしながら希望の髪色に近づくまで放置します。

約15分



全体にのばして放置
約15分

3 最後に目のあらいクシで、混合液を髪全体にのばしてください。髪全体が均一な髪色になるまでチェックしながら放置します。



POINT

くし型ノズルの使い方

髪をとかす要領でクシの先が髪の中に隠れるように、頭皮に沿ってとかしますときれいに塗れます。



上図のような向きで塗布していただくとうまく塗布できます。

注意

※髪の流れに逆らってとかすと、混合液が飛び散る場合があります。
※金属製のヘアピンやクシなどは、熱をもち髪を傷めることがありますので、使用しないでください。
※使い残した混合液は、再使用できませんので必ず捨ててください。

使用後のご注意

※再度ブリーチやヘアカラー等(ヘアマニキュアは除く)を使用される場合は、髪や地肌への負担を考慮し1週間くらいの間隔をおいてからご使用ください。

※次のような場合には、衣類、帽子、枕カバーなどに色移りすることがありますのでご注意ください。

- ・髪がぬれているとき。(運動などで多量の汗をかいたとき、雨にぬれたとき、洗髪後など。)
- ・育毛剤、ヘアリキッド、ヘアフォームなどの髪用品を多量に使用したとき。

※くし型ノズル、2剤容器は、すぐ水などで軽くすすぎ、混合液を洗い流してから、ビニール袋などで包んで、各地域の指定の分別に合わせて、ごみに出してください。

1 ご希望の髪色になりましたら、ぬるま湯で十分にすすいでください。しっかりシャンプーした後、トリートメントなどで仕上げます。

注意

※洗髪時の洗い液が目に入らないように、特にご注意ください。
※もし目に入ったときはすぐに水またはぬるま湯でよく洗い、眼科専門医の診療を受けてください。自分の判断で目薬を使用しないでください。



注意

※髪を十分に乾かしてください。半乾きの状態では枕カバー、衣服等に色がつかうことがあります。